

備 前 市 施 策 評 価 シ ー ト

(平成19年度事業)

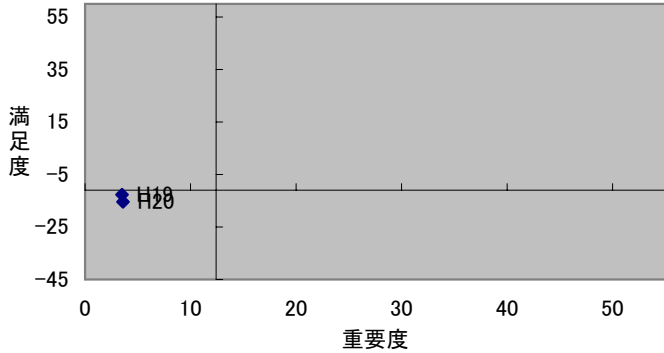
施 策 名 (小項目)	林業	コード	作 役	農林水産課長
		04-01-02	成 氏	磯本 健
			者 電	64-1831

備前市総合計画の内容から記載する

政策の体系	大項目（基本目標）	もてなしの心とたくましさのあるまちづくり
	中項目（基本施策）	豊かな食を支えるまちづくり
① 施策の対象と目的 (誰のために、何のために)	森林所有者や地域住民に対し、森林整備や治山事業を行い、良質な水資源の安定的な供給や山地災害の防止と住民の憩いの場の提供を計る。	
② 現況と課題 (総合計画から現在の問題点を抽出)	① 人工林は各地に分散しており施業の共同化行いにくい。 ② 人工林のほとんどが若齢林で将来の伐採期に備え、適切な保育施業の必要がある。 ③ 林業に対する関心の希薄化と後継者不足、林業労働者の高齢化及び森林の荒廃が問題である。	
③ 施策展開 (総合計画の施策部分から、実施する施策を抽出)	・ 林道の整備を図る。 ・ 治山事業の推進を図る。 ・ 造林事業の推進を図る。 ・ 森林組合などへの支援を行う。 ・ ・ ・ ・	

④市民意識調査による施策の重要度・満足度

調査年度	H19	H20	H21
重要度（％）	3.5	3.6	
満足度（％）	- 12.7	- 15.4	



高 ↑ 満 足 度 ↓ 低	<見直し領域> その施策や事業が必要 か否かの検討が必要	<維持領域> 現状の方向を継続
	<検討領域> その施策や事業の存続 の検討が必要	<強化領域> 内容等を見直し、市民 満足度を高める事業を 行う
低 ← 重 要 度 → 高		

調査結果に対するコメン ト、市民の反応等 〔 調査対象でない 施策の場合は、 市民の反応等 〕	山地災害の防止による生活環境の保全及び身近な自然とのふれあいの場としての森林の持つ重要性は高まっているが、重要度、満足度も低い。
---	--

⑤ 施策成果指標（基本目標・基本施策・施策意図から設定）

施策に対する成果指標名		単 位	過年度実績			目標値			ベンチ マーク	指標の説明
			H17	H18	H19	H20	H23	H28		
1 林道開設延長		％	5	10	25	30	40	70		整備済延長／実施計画林道 延長 415.5／1310
	実績	％	1	4	32					
	達成率	％	20.0	40.0	128.0					
2 森林面積	目標	ha	18,647	18,647	18,647	18,645	18,645	18,645		現有森林面積の確保
	実績	ha	18,647	18,647	18,645					
	達成率	％	100.0	100.0	100.0					
3	目標	人								
	実績	人								
	達成率	％								
4	目標	千円								
	実績	千円								
	達成率	％								

⑥ 施策構成事務事業の評価

⑧ 施策構成成務事業の評価					所 属 長 評 価											
施策を構成する 事 務 事 業		事務事業 評価結果 A ～ E (高 ～ 低)	細 事 業	事業分類	事業費等（単位：千円、人）									施策への 貢献度 ☆☆☆ ☆☆ ☆	予算の 重要性 \$\$\$ \$\$ \$	H20 当初予算 直 接 事業費
					H17			H18			H19					
					直 接 事業費	人件費	人工数	直 接 事業費	人件費	人工数	直 接 事業費	人件費	人工数			
1	林道整備事業	B	小規模林道整備事業	国県補助事業	0	3,203		12,373	6,260		13,743	2,172	0.29	☆☆☆	\$\$\$	8,000
			林道維持管理事業（備前）	施設維持管理	1,215			1,353			2,053	2,422	0.30	☆☆	\$\$\$	2,370
			林道維持管理事業（日生）	施設維持管理	0			487			0	0	0.03	☆☆	\$\$\$	481
			林道維持管理事業（吉永）	施設維持管理	1,240			2,146			2,332	429	0.05	☆☆☆	\$\$\$	2,272
2	治山事業	B	単独事業	施設維持管理	498	715		3,851	5,970		331	515	0.08	☆☆	人件費のみ	0
			林地災害復旧事業	国県補助事業	0			3,163			2,400	654	0.12	☆☆☆	人件費のみ	0
			治山施設維持管理事業（日生）	施設維持管理	0			0			0	0	0.00	☆☆	人件費のみ	0
			治山施設維持管理事業（吉永）	施設維持管理	0			0			0	186	0.02	☆☆	人件費のみ	0
3	森林普及振興事業	C	生活環境保全林管理事業（備前）	施設維持管理	2,016	9,239		2,355	2,139		1,062	0	0.00	☆☆☆	\$\$\$	1,500
			生活環境保全林管理事業（吉永）	施設維持管理	1,000			850			893	186	0.02	☆☆☆	\$\$\$	900
			水源林整備事業	施設維持管理	494			493			494	168	0.02	☆☆☆	\$\$\$	400
			森林整備計画等事務	その他単市	0			0			0	444	0.05	☆☆	人件費のみ	0
			林政事業	施設維持管理	0			0			0	1,731	0.18	☆	\$\$	0
			松くい虫駆除事業（備前）	その他単市	1,653			1,652			0	0	0.00	☆	\$	0
			松くい虫駆除事業（吉永）	その他単市							550	93	0.01	☆☆☆	\$	600
			松くい虫予防事業（日生）	国県補助事業						546		477	731	0.08	☆☆☆	\$\$
			松くい虫被害対策地区推進連絡事業（日生）	国県補助事業	18			34			39	57	0.02	☆	\$	42
			森林管理事業（備前）	施設維持管理	420			284			567	0	0.00	☆☆	\$	0
			森林管理事業（吉永）	施設維持管理							966	93	0.01	☆☆	\$	576
			森林総合利用施設管理運営事業（吉永）	国県補助事業	800			0			0	0	0.00	☆☆	人件費のみ	0
			保健保安林管理事業（吉永）	施設維持管理	50			50			50	93	0.01	☆☆	\$	100
この施策に費やした資源（単位：千円、人）					H17			H18			H19			H20当初(直接事業費)		
					24,187	14,377		44,259	15,952		35,579	10,738	1.38	28,382		

⑦ ⑥以外で、目標達成に必要な新規事業及び連携させる他部署の事業

実施主体	新規に必要な事業・連携が必要な事業	説明・期待される効果

⑧ 施策の評価

項 目	5：非常に高い 4：高い 3：どちらともいえない 2：低い 1：非常に低い			
	一次評価		二次評価	
	評価	判断理由	評価	判断理由
1 目的達成度 (中・長期目標に対する)	3	森林整備の基盤となる事業が予定どおり進行している。	3	林道開設延長の達成は可能。
2 事業構成の適当性	3	森林保全に必要な事業である。	3	概ね妥当である。
3 施策の有効性 (評価年度の目標達成)	3	妥当な施策である。	3	目標を達成しているものの、林道整備事業は、事業効率、有効性を再検討する必要がある。
担当への指示 (今後の展開・協働の可能性・事業見直し・新規事業創出等)	森林保全のため、今後も事業投資が必要となりますが、地域の要望、緊急度等を考慮して事業を推進していく必要がある。			林道整備事業については、財政状況も考慮し、年次的な計画とすること。
二次評価者コメント 役職 産業部長 氏名 玉垣 和志	自然環境の保全の観点からも山林の公益的機能を高めるよう継続的な事業実施が必要である。			基本施策への貢献度 3中立

施策名	林業
-----	----

(平成19年度事業)

⑥ 施策構成事務事業の評価（続き）

所 属 長 評 価

[illegible]

記入しきれない場合の続き